

補講1 巻次・年月次の記入法

p.139-140

このコマで理解して欲しいこと

1. 雑誌書誌レコードにおいて重要な巻次・年月次の記述文法
2. 雑誌の順序付けである「巻次・年月次」と、出版年の違い
3. 所蔵レコードの所蔵巻次(HLV), 所蔵年次(HLYR)との違い

このコマの進め方

1. テキストによる説明

<時間配分の目安>

	20分
補講1:巻次・年月次の記入法	20分

このコマの進め方

1. テキストによる説明

説明のポイント

p.139-140	<p>補講1 巻次・年月次の記入法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 以降のコマで書誌レコードを作成するが、雑誌ではVLYRの記入がポイントであることを予告する。 ● 書誌レコードは共有レコードで、雑誌の生没年を表す方法であることを強調する。固有レコードである所蔵レコードのHLV, HLYRとの違いを具体的に説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 2.8 所蔵データとVLYRフィールド(p.60) ➔ 所蔵データの記入法はSL教材で学習済み。また、SL教材では雑誌の順序付けは必ず巻号等の巻次と、暦による順序付けのセットで表現することを説明している。 ● VLYRの記述文法と、初号・終号の情報が記入できる・できないケースを考えさせる。 ● できるだけ単純に記述のルールを説明する。(転記の原則と例外の点) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>巻次</th> <th>年月次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和</td> <td>「第」はトル</td> <td>「年・月・日」「号・版・度」はトル</td> </tr> <tr> <td>洋</td> <td colspan="2">AACR2の略語を用いる</td> </tr> <tr> <td>和洋とも</td> <td colspan="2">数字・数詞はアラビア数字</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 複数の巻次表現があった場合に優先して採用するものの考え方のポイントを理 		巻次	年月次	和	「第」はトル	「年・月・日」「号・版・度」はトル	洋	AACR2の略語を用いる		和洋とも	数字・数詞はアラビア数字	
	巻次	年月次											
和	「第」はトル	「年・月・日」「号・版・度」はトル											
洋	AACR2の略語を用いる												
和洋とも	数字・数詞はアラビア数字												

解させる。『コーディングマニュアル』6.2.3F3, 7.2.3F3を示すこともよい。

- 巻次変更があった場合の記述文法を説明する(所蔵レコードと異なり,「△;△」スペースを入れる)。

どのような場合が巻次変更か『コーディングマニュアル』6.2.3F4, 7.2.3F4を示すこともよい。

- 出版年と年月次を混同しないよう注意する。具体的に出版年が年月次とずれるケースを例示するとわかりやすい。

検索課題集課題5:「平成4年」が年月次で, 出版年は「平成5年12月」。

報告書の類いでは, その年の報告が1, 2年後に出ることが多い。

紀要類も, 年次はその年度が表示され, 出版年は年度末の翌年3月など。